

提出 順番	No. 2	令和 6 年 5 月 28 日 午前・午後 11 時 57 分受領
----------	----------	--------------------------------------

令和 6 年 5 月 28 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 内山 美穂子



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
幕別町アイヌ文化拠点施設と関連する諸課題について	<p>アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律（アイヌ新法）が施行され5年が経ちました。新設されたアイヌ政策推進交付金を活用して、幕別町アイヌ文化拠点施設の建設が決まり、令和8年に国道38号線沿いの千住地区に開館予定です。</p> <p>千住地区は、かつてチロットコタンがあった土地であり、ここに「蝦夷文化考古館」が昭和34年に、アイヌ民族の交流施設「千住生活館」が昭和38年に建てられ、町が管理運営してきました。蝦夷文化考古館にはチロットコタンのアイヌの指導者であった吉田菊太郎氏が収集した文化財が納められており、建物とともに町に寄贈されています。特にアイヌ民族自身が書き残した文献は極めて貴重なものであり、民具は製作者や保有者が特定されている資料価値が高いものと評価されており、幕別町総合計画にも歴史文化の保存伝承として施設整備の必要性が位置付けられてきました。</p> <p>しかしながら、両施設とも老朽化が著しく建替え出来ない状況が長く続く中、アイヌ新法の制度によって幕別町アイヌ施策推進地域計画が国の交付金事業に認定され、施設の更新に至ったわけです。</p> <p>その上での質問になりますが、これら幕別町の文化財を守り歴史を後世につないでいくため、アイヌの方々はもとよりいかに多くの方に活用していただくかが問われ</p>

るところですが、将来人口や町の財政状況などを踏まえると、施設の維持管理や運営に関わった大きな課題があり懸念される町民も多いと認識しています。

アイヌの方々の思いや主体性を尊重しながら、将来にわたって同施設が共有の財産となり地域振興につながっていくよう、丁寧に情報共有し、町民理解を深めていくべきだと考えます。現在、整備が進められているアイヌ文化拠点施設について、本町の財政状況などを鑑み、関係する諸課題について下記の通り伺います。

- 1 生活館棟工事入札中止の経緯について。
- 2 アイヌ文化拠点施設の建設費について。
- 3 幕別町公共施設等総合管理計画との整合性について。
- 4 施設の屋根の形状と維持管理について。
- 5 ソフト事業をどう展開していくのか。
- 6 施設の管理運営についての考えは。
- 7 施設の果たすべき役割について。

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。